

美しい瀬戸内海を後世に...

一屋島クリーン大作戦に参加しました一



3月5日(日)、第16回屋島クリーン大作戦が晴天の下行われ、当社からは社員8名とそのお子様3名の総勢11名が参加しました。

瀬戸内海国立公園内に位置する史跡天然記念物屋島から不法投棄を無くすことを目的に毎年3月の第1日曜日に開催されており、当社は第1回目の開催から毎年参加させて頂いています。

当日は地元の中学生や地域住民など約2千名もの方が参加されていました。



▲ “長崎の鼻”から見た女木島

当社の清掃担当場所は、瀬戸内海に突き出した屋島の最北端である“長崎の鼻(ながさきのはな)”。

瀬戸内海の多島美を楽しめる絶景スポットのひとつとして知られており、先端には、幕末に高松藩主 松平頼聰(よりとし)によって築かれた砲台の跡も残されています。

そんな有数の観光地であるにも関わらず、発泡スチロールやビン・缶・ペットボトル、ビニール袋など、拾い切れないほどのゴミが辺り一面を埋め尽くしていました。

これらのゴミの発生源は、山間部や都市等でポイ捨て・不法投棄された生活系・産業系のゴミが下水道や河川に流れ出したものと考えられます。

そのため、漂着してきたゴミを拾うことももちろん必要ですが、それだけでは根本的な解決とはならないのが現状です。



美しい瀬戸内海を後世に守り継ぐためにも、ポイ捨て・不法投棄撲滅に向けてまだまだ働きかけていかなければなりません。

